

A 小樽中心部マップ



- 駅周辺ゾーン**
駅周辺の商業地区。ホテル、銀行、商店街(アーケード)などのビジネス街です。
- 運河ゾーン**
運河周辺の伝統的な観光スポット。石造りの建物や古い洋館などの歴史的建造物が多く、落ち着いた雰囲気があります。
- ロマンゾーン**
メルヘン交差点周辺の新しい観光スポット。オルゴールショップや、ガラスショップなど、お土産を買うには最適なエリアです。
- 娯楽ゾーン**
小樽のナイトスポット。すし屋、居酒屋、レストラン、バー、商店街(アーケード)など、グルメなお店がいっぱいあります。

B 築港エリア



- H 宿泊施設
- ? 観光案内所
- \$ 銀行(両替可)
- WC 公衆トイレ
- 郵便局
- 警察
- 貸自転車
- レンタカー
- 美術館、博物館
- 歴史的建造物
- ガラス工芸施設
- オルゴール施設
- 市場
- 病院
- ガソリンスタンド
- バスターミナル

歴史的建造物

5 旧日本郵船(株)小樽支店



日本を代表する海運会社の旧建築物です。近世ヨーロッパ復興様式の重厚な石造り建築を採用するとともに、格調高い館内を忠実に再現しています。
所在地:色内3-7-8/電話0134-22-3316/9:30~17:00/月曜・祝翌日休(土日は除く)/大人300円・高校生150円・小中学生無料/おたる散策バスに乗車

6 日本銀行旧小樽支店金融資料館



設計者は日銀本店や赤レンガの東京駅を設計した辰野金吾(たつのきんご)氏です。荘重なルネサンス様式を用いたレンガ造り建築(外装は石造り)で、大小5つのドームなど、フォルムが美しい。平成15年(2002年)金融資料館としてオープン。
所在地:色内1-11-16/JR小樽駅から徒歩10分

7 手宮線跡地



営業鉄道として北海道で初、国内では3番目に手宮~札幌間に敷かれた鉄道。建設の目的は、幌内で産出される石炭を小樽港から輸送することでした。この手宮線も昭和60(1985)年にその役割を終え、今では、市民や多くの観光客に親しまれる貴重なオープンスペースとして、また小樽文化継承スポットとして生まれ変わりました。

美術館・博物館

1 市立小樽文学館・市立小樽美術館

所在地:色内1-9-5 JR小樽駅より徒歩8分
市立小樽文学館:小樽出身の小林多喜二や伊藤整をはじめ小樽ゆかりの作家の優れた著書や文芸誌、原稿、書簡などを展示するとともに、小樽文学界の歴史を紹介しています。
電話:0134-32-3288/9:30~17:00/月曜日、祝日の翌日休み/大人300円・高校生150円・小中学生無料
市立小樽美術館:小樽にゆかりのある日本画家・洋画家の作品や、小樽美術界の歴史を紹介。また、小樽生まれの洋画家中村善策の作品と資料が展示されている記念ホールもあります。
電話:0134-34-0035/9:30~17:00/月曜日、祝日の翌日休み/大人300円・高校生150円・小中学生無料



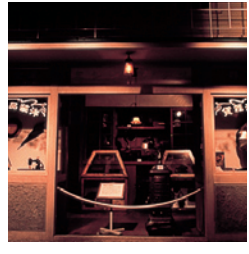
2 小樽市総合博物館

北海道鉄道発祥の地の総合博物館。鉄道資料を中心に展示。プラネタリウム、科学展示などもあります。
所在地:手宮1-3-6/電話0134-33-2523
/9:30~17:00/火曜日定休(火曜日が祝日の場合翌日)/4月29日~11月3日 大人400円・高校生200円・小中学生無料、11月4日~4月28日 大人300円・高校生150円・小中学生無料



3 小樽市総合博物館運河館

明治26年(1891年)建築の倉庫内で当時のまちなみ復元を中心に小樽の歴史と自然を紹介。
所在地:色内2-1-20/電話0134-33-2439
/9:30~17:00/無休/大人300円・高校生150円・小中学生無料



4 運河プラザ

北海道でもっとも古い「旧小樽倉庫」を再利用した施設。小樽産品の展示紹介&小樽・後志の観光情報が一同に集まっています。館内では、明治から昭和初期の写真や市街地図などを展示しています。
所在地:色内2-1-20/電話0134-33-1661/9:00~18:00(夏期は20:00まで)

